

小山市事務事業評価シート

平成30年度版

No. 13

1. 基本情報							
<1> 事業・業務名		管理監督者研修			<2> 事業・業務の別		事業
<3> 選定基準		⑤ その他			<4> 継続評価・新規評価の別		継続評価
<5> 総合計画 基本計画 での体系	大項目	2 着実に進める 新しい時代の行政づくり			<6> 担当部(局)		総務部
	中項目	2-1 行政サービスの向上と効率的な行政運営			<7> 担当所属		職員研修所
	小項目	2-1-1 行・財政改革			<8> 担当係等		
	施策	職員の資質向上・能力開発					
<9> 根拠法令・計画等		地方公務員法第39条		<10> 関連・類似事業			
<11> 会計		一般	会計	<12> 予算科目		2 款 1 項 1 目	
<13> 実施期間		年度	～	年度	<14> 全体事業費		千円
<15> 実施手法		「その他」の場合 ()					

2. Do - 実施 -									
<16> 事業・業務の概要		管理監督職員を対象に講演会形式により研修を行う。							
目的	<17> 事業・業務の目的	管理監督職員が現在の行政課題、地方自治体を取り巻く状況等の見識を深める。							
	<18> 事業・業務の対象	管理監督職員							
手段	<19> 平成29年度の活動内容	『イクボス』をテーマに外部講師を招き講演会を行った。							
	<20> 活動指標 (アウトプット)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		受講者数	人	170	179	170	186	109.4%	
成果	<21> 事業・業務の成果	管理監督職員のイクボスについての認識が深まり、働き方改革等に関する理解が進んだ。							
	<22> 成果指標 (アウトカム)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		研修満足度(3段階)		2.50	2.42	2.50	2.57	102.8%	
コスト ～資源の投入量	<23> 投入指標 (インプット)	区分	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		コスト	千円	591	591	567	567	100.0%	
		事業費等	千円	302	302	279	279	100.0%	
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
一般財源	千円		302	302	279	279	100.0%		
人件費	千円	289	289	288	288	100.0%			
	正職員	千円 × 人役	7,214 × 0.04	7,214 × 0.04	7,195 × 0.04	7,195 × 0.04			
	他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 目的・対象の妥当性	1.妥当である	理由	管理監督職員が現在の自治体が抱える課題等を理解するために有意義な研修となっていることや、業務多忙な管理職が短時間集中の講演会形式で受講できる等の理由により妥当である。
		<25> 手段や実施手法の妥当性	1.妥当である		
	有効性	<26> 成果の向上余地	2.向上の余地がある	理由	出来るだけ多くの管理監督職員に受講してもらうために、効果的な研修会の案内を行うことや、より興味をもってもらうテーマの把握に努めていく必要がある。
	効率性	<27> 事業費や人件費の削減余地	1.削減の余地なし	理由	講師料が事業費の多くを占めるが、良質でレベルの高い講師を依頼した場合は価格も相応となるので削減は困難である。
	公平性	<28> 受益者負担の適正化余地	1.適正	理由	受益者負担の余地はない
	<29>総合評価	1.改善の余地なし	理由	現在の自治体が抱えている課題など、旬なテーマについて研修できている。今後も管理監督職員のニーズ等の把握に努め多くの対象者に興味をもってもらえる研修として維持していきたい。	

4. Action - 改善 -

事業の改善	<30> 事業の課題 事業の改善点 今後の進め方等	新任の管理監督職員以外は例年の受講となるため、研修内容がマンネリ化しないよう受講者のニーズや社会が自治体に求めているテーマの把握を敏感に行い、多くの対象者に興味をもってもらう内容とする必要がある。アンケート結果や各市の研修担当者の意見などを参考に慎重に内容を検討していきたい。			
事業の方向性	<31> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由	アンケート結果も良好であり、良質な研修内容と考えられるが、今後も効果的な研修内容を維持していくためには、アンケート結果の入念な検証を行う他、慎重な研修講師の選定を行い、確実な研修運営を図っていく必要がある。
	<32> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由	管理監督職員が現在の行政が抱えている課題等を把握し、見識を深めていくことは重要なことである。今後も社会の動向等を注視し、的確な研修テーマを定め研修を実施していくことは必要である。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<33>実施計画	働き方改革、ワークライフバランスについての先進的な知識をもった講師を招き、講演会を実施する。	<35>コスト	区分	単位	平成30年度	平成31年度
	<34>活動・成果目標	管理監督職員の働き方に関する意識の変革を図る。		コスト	千円	618	638
				事業費等	千円	330	350
			人件費	千円	288	288	